

北海道遺産  
Hokkaido Heritage北海道遺産・北見市指定文化財 **ピアソン記念館****第87号**

2019. 8. 5

**ピアソン便り**

発行人：吉田 邦子（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

NPO 法人ピアソン会事務局

（事務局長 伊藤 悟）

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

TEL.FAX 0157-31-1215

ピアソン記念館内

午前 9:30 ～午後 4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp



北見市・エリザベス市姉妹都市提携50周年記念  
**第21回グリーンシンコンサート終了!**

7月7日曜日、ピアソン師の故郷、アメリカエリザベス市から、姉妹都市訪問団をお迎えして歓迎のコンサートが開催されました。天候にも恵まれ、午後1時半から3時半までの2時間、①中央小学校ブラスバンド部、②北中学校吹奏楽部、③北見工業大学&日本赤十字北海道看護大学吹奏楽部、④北見吹奏楽団、⑤北見交響吹奏楽団、5団体が共演しました。

上の写真は、エリザベス市訪問団と出演団体の皆さんでコンサート終了後に記念撮影をした1枚です。テラス入り口にはピアソン夫妻の写真が飾られて、遠い故郷からの訪問団を、ピアソン夫妻が心から歓迎しているかのようにでした。

**第23回文化サロン de ピアソン****夏の夕べ****～クラシックアコーディオンの世界～**

- ◎ 開催日時 : 2019年8月17日(土) 午後5時より午後6時まで (開場4時半)
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館1階 北見市幸町7丁目4番28号
- ◎ 奏者 : 松原智美 (アコーディオン奏者)
- ◎ 予約チケット : 500円 (中学生以上)。
- ◎ 問い合わせ : NPO 法人ピアソン会 (電話 0157-31-1215)



訪問団をお迎えしてのコンサート!

野外行事でもあるので、天候を一番心配していましたが、暑くも寒くもなく雨の心配も全くなくて良い天候に恵まれて、訪問団歓迎のコンサートを実施することができました。

辻北見市長歓迎の挨拶を受け、最初に市立中央小学校のブラズバンド部児童の演奏が始まりました。12名で奏でるアンサンブルは、訪問団の心を打ったようで、一曲一曲に暖かい拍手・声援をおくっていました。小さな体に大きな楽器を持つての演奏は、アメリカではあまり見ら



れない光景であると、驚いたようです。

次は市立北中学校の吹奏楽部の演奏でしたが、進行をつとめた女子生徒は、きれいな発音での英語解説。会場からは「うおっ!」と、感嘆の声があがるほどでした。訪問団も笑顔で拍手喝采!。すっかり歓迎コンサートに、心から寛いだ様子になっていました。

3番目の演奏は、北見工業大学&日赤看護大の吹奏楽部。大学生の演奏が始まると、『どうしてこのジョイントなのか?』との疑問があるようで、通訳に



しきりに聞いていました。後日北見工大を訪問する予定もありますので殊更だったようです。

次の演奏は北見吹奏楽団。軽快な演奏に手拍子も出ていました。最後の演奏は北見交響吹奏楽団で、43年前にエリザベス市を訪問、演奏会を開催した実績があるので、大きな拍手で演奏に聞き入っていました。

約2時間のコンサートは、最後にピアノン夫妻がこの北見に残した一つのテーマ「人のために尽くす、街を綺麗に!」を確認して終了しました。



ピアノゲートルームで、  
ハーブ部のあもごさじ!

コンサート終了後、喉を潤していた  
だくために、ハーブ部会（小林、長南  
増井）の準備したハーブティーと銘菓  
「みかしわ」で一服していただきました。



くつろぐ訪問団のみなさん

在札幌米国総領事館

首席領事の来館!

7月8日、予告なしでレイチェ  
ル・ブルネット・チェン首席領事  
が来館されました。



ピアソン夫妻と4人で記念撮影

米国駐日大使ハガティ氏、  
家族で来館!!



写真/ピアソン聖書を真剣に見る家族



写真/ピアソン会からお土産を

7月10日午後2時半過ぎに、ハガティ駐日大使とご家族が、休暇  
を利用した旅行で、ピアソン記念館見学のため北見に寄られました。  
ちよど姉妹都市エリザベス市訪問団も北見に滞在している時でもあ  
り、北見市長・エリザベス市長も大使をお出迎えし、記念館を案内し  
た後、記念の写真を撮りました。ピアソン会からは家族へのお土産と  
して清月の「赤いサイロ」とピアソングッズをお渡しいたしました。



写真/テラスでご家族とエリザベス市訪問団と記念撮影

ヴォーリス建築文化全国ネットワー  
ク  
国際基督教大学で開催

6月15日土曜日に第13回目とな  
る総会が東京のICUを会場とし  
て開催されました。総会後に「ヴ  
ォーリスとICU1950年代の  
挑戦」と題した高澤紀憲法政大  
教授の講演があり、戦後ヴォー  
リス建築について、語られていな  
い知られざる秘話に触れた講演  
で大変勉強になりました。



総会で議事を進行する石田忠範議長。右に田淵幹事、山崎事務局員



第24回文化サロン de ピアソン

映画会「塩狩峠」

- ◎ 9月7日(土) : 午後4時45分～午後7時まで
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館 (北見市幸町7-4-28)
- ◎ 解説者 : 中山一夫 (ピアソン会理事)
- ◎ 予約券 : 無料、事前予約必要 (ピアソン記念館)
- ◎ 問い合わせ : ピアソン会 (電話 0157-31-1215)

第25回文化サロン de ピアソン

～クラシックギターの夕べ～

- ◎ 9月28日(土) : 午後5時～午後6時まで
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館 (北見市幸町7-4-28)
- ◎ 演奏者 : 山田日出男 (ギタリスト)
- ◎ 予約券 : 500円、事前予約必要 (中学生以上)
- ◎ 問い合わせ : ピアソン会 (電話 0157-31-1215)



# 北見市「教育文化体育功労賞」受賞報告 !!

ピアソン会が活動を始めて、今年で22年目となります。その間、会発足の精神を守り続け、ピアソン記念館が持つ本来の役割を果たすことが可能になるようにと、会員一同で協力し、今日まで努力して来ました。活動の成果としては、北海道遺産認定受証や北見市指定管理者としてピアソン記念館の運営管理を受託することになり、各種の助成金を得ながら、館の展示の充実、研究書籍の発行、関係団体と情報交換・連携、また姉妹都市エリザベス市との交流など、様々な成果を上げることができました。このような活動が評価され、2004年に北海道新聞社より、「第3回きたのみらい奨励賞」を受賞しています。さらに2011年には北海道文化財保護協会より、「北海道文化財保護功労賞」を受賞しています。

今回の表彰は、ピアソン記念館を所有する北見市からのものでした。特に今年は、ピアソン師の故郷エリザベス市と姉妹都市を提携して50周年という記念の年で、各種の記念式典が準備されているという年でもありましたので、会員の喜びは格別なものでした。

6月10日、午前11時より開催される表彰式の会場ホテル黒部に、ピアソン会より吉田理事長、福井副理事長、中山理事の3人が出席し、辻北見市長から表彰状を拝受しました。

今回の北見市功労賞は、個人30人と1団体への授与で、北見のNPO法人では、北見市功労賞を受賞した団体として当会が初めての団体となることでした。

表彰式の終了後、受賞者・受賞団体と辻市長との昼食会が開催され、和やかな談笑のひと時を過ごすことができました。



辻北見市長より表彰状を受けとるピアソン会吉田理事長・中山理事・福井副理事長。

## 第34回サロマ湖100km ウルトラマラソン参加者の来館!

今年もウルトラマラソン参加者たちが当記念館を訪れました。当記念館で情報交換をして友人になる方も多いようです。左側写真の二人は、



各地でのレース情報交換をしていました。写真右の二人は、レース翌日に来館された東京都と芦屋市の友人二人。レース後の来館は珍しく、首から下げたメダルは完走メダルとのこと。ただし、どちらの方が完走されたのかは謎?でした。

## 素敵な来館者!

福岡からの女性と金沢からの男性で、開催前日に訪れ、初対面でしたが、

## マミフラワーデザインスクール総長、来館!



当記念館保存の功労者である唐笠学(何蝶)医師の次女マミ川崎さんが、ご子息川崎景介校長と6月に来館されました。戦時中自宅として住んでいた懐かしいピアソンの庭を散策し、唐笠何蝶親子句碑に見入っていました。

### 編集後記

一大行事全てを無事終了致しました。これらの行事はホームページ「行事終了報告」でも写真紹介しておりますのでご覧ください。またこれらの行事の一部は、北海道遺産協議会の(株)伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーンの助成を受けて実施されています。  
(理事兼事務局長) 伊藤 悟